妖怪○○班議事録　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2014年11月17日

メンバー：かんなちゃん、まみこさん、みのりさん、かいさん、てらお　　　　　　　　　文責：寺尾

ＰＰ

1. 教師の労働環境…時間、賃金→塾と連携、市町村費負担教職員
2. 塾への依存→教師の労働環境、教師観

・学校地域の役割不明瞭

・国・教育委員会との仕事の振り分けも不明瞭

➡**案：教師の労働環境が悪いのは国が教師に依存しすぎているからだ**

**法廷勤務時間/賃金が悪いのは教師の捉え方に日本的特徴があるから**

**学校と家庭・地域の役割が曖昧で教師の仕事に際限がなくなっている**

**学習面にとどまらない**

★文言要検討

方法

・国が教師をどう捉えているか

　←教師への期待と依存で成立

・見える学校・アカウンタビリティ→先生忙しくなる

例１）他国だと知識の教授が仕事で、ほかの業務は委託

例２）日本の中でも時代変遷はある

　　戦前：師範タイプ→（大正）→戦中：国のため！→戦後

　～ｓ40：学校、地域あいまい

　　ｓ50：教師の仕事は学校内だけ！

　　ｈ　：保護者との関係

◆教師の仕事（OECDの比較で1番差があるのは課外活動　日本7.7平均2.1）

・事務

・部活動…外部指導　例）大阪市

　　　　　→外部指導者の役割

意義：荒れている子を学校にしばる

　　　日本の部活　先生―先輩―後輩

　　　教育基本法　人格の完成／心身ともに健康

・カウンセリング（生活指導）

・授業

◆労働環境悪い

→労働時間長い（残業とか）

→課外活動の指導が他国に比べて長い

　↔日本の特徴…良し悪しは難しい、法でも「人格の～」言われている

→見える化　系（歴史的に増えているもの？）

1. かんなちゃん

アカウンタビリティ系を外部委託するなどして解決できないか

他国の事例を見るなど…

1. まみこさん

・アカウンタビリティ（保護者への説明責任）

・いじめ問題（昔からあったけど近年の注目から教師の責任が増）

・インクルーシブ（障害のある子を普通学級で）

・ＩＣＴ

・モンスターペアレント

➡これらは多くの国に共通だが、そのすべての対応を教師に求めるのは日本だけだったりしないか？海外と比較（教師観、教職の役割）

（塾への依存）

→教師の労働時間長い、自己効力感低い

長い課外活動、長い事務作業等（残業・持ち帰り）、授業準備時間（これは割けている？）

日本は、授業をすることによる学力向上、部活での技術・人間関係活動、いじめ、アカウンタビリティ、ＩＣＴ等教育に関係する様々な問題への対処を教師の仕事としている

海外は外部委託している（cf.大阪市部活動の外部委託）

人間形成的な側面を重視しているのは日本の特徴？（調べる）

→事務作業系の教師の役割負担を減らす必要があるのでは…？

◆自己効力感低い→自分の理想と実際の実戦との乖離、やりたいことができない！

・理想が高すぎる

・国から「やれ！」といわれる形式的にやらなければならないことが多すぎ

・（初任者）研修で提出しなければならない報告書

メモ

・教師の労働時間長い

・自己効力感低い

→日本では「指導」として全部やっちゃう（先行研究）

→班の考え：国の制度的に教師にいろいろ任せている

・海外では…

『教師の条件　授業と学校をつくる力』ｐ１２８

教師観　“teach instruct”＋α＝「指導」

←国が教師に任せすぎではないか（制度的に？）

調べること（仮説検証）

・国が教師にいろいろ任せている事例

　制度・答申とか

　例）アカウンタビリティ、いじめ、学力、インクルーシブ、人間関係等

・日本：上記のことで先生が負担を感じているデータ

上記のことで外部への委託ができていないデータ

・海外：上記のことで海外は委託できているデータ・取り組み例

　＋うまくいっているか（効力感とかは？）

やること

・論に対してどこにどの資料を使うか決める（仮説まで）→レジュメ

・先行研究　労働関係

・仮説検証、資料集め

　・日本：政策　まみこさん、みーちか、かんなちゃん

負担（依存されてることにより感じているもの）に関するデータ　みのりさん

　・海外：海さん、てらお